

学 校 法 人 新 庄 学 園

# 新 庄 東 高 等 学 校

令和4年度

第3学年Sコース

## 教科目学習計画

～ 校 訓 ～

“自らの手で人生を開拓しよう”

それは努力によって      そして方法を考えて      すべて敬虔な態度で

教科	国語	科目	現代文	学年	3	コース	講座2	単位数	2	担当者	後藤 くにこ
使用教科書	新編現代文 B (東京書籍)										
副教材											
目 標	<p>近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。</p> <p>① 【知識、技能】 言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付ける。</p> <p>② 【思考、判断、表現】 相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめる力を養う。</p> <p>③ 【主体的に学習に取り組む態度】 文章を読む楽しさを味わい、読書に親しむとともに、国語を伝え合う力を進んで高める。</p>										
備 考											

1 学期			2 学期			3 学期		
月	単元	時数	月	単元	時数	月	単元	時数
4	評論『最初のペンギン』	6	8	評論『もう一つの知性』	6	1		
5	小説『カンガルー日和』	8	9	小説『山月記』	12	2		
6	小論文基礎	6	10	小論文基礎	12	3		
7			11					
			12					

教科	国語	科目	現代文	学年	3	コース	講座3	単位数	2	担当者	志賀浪拓
使用教科書	新編現代文B（東京書籍）										
副教材											
目 標	<p>近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。</p> <p>④ 【知識、技能】 言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付ける。</p> <p>⑤ 【思考、判断、表現】 相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめる力を養う。</p> <p>⑥ 【主体的に学習に取り組む態度】 文章を読む楽しさを味わい、読書に親しむとともに、国語を伝え合う力を進んで高める。</p>										
備 考											

1 学期			2 学期			3 学期		
月	単元	時数	月	単元	時数	月	単元	時数
4	評論『最初のペンギン』	6	8	評論的随想『カフェの開店準備』	6	1		
5	小説『カンガルー日和』	8	9	小説『鞆』	12	2		
6	小論文基礎	6	10	小論文基礎	12	3		
7			11					
			12					

教科	国語	科目	現代文	学年	3	コース	講座4	単位数	2	担当者	菅野 裕美
使用教科書	新編現代文 B (東京書籍)										
副教材											
目 標	<p>近代以降の様々な文章を読むことによって、我が国の言語文化に対する理解を深め、生涯にわたって読書に親しみ、国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。</p> <p>① 【知識、技能】 言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付ける。</p> <p>② 【思考、判断、表現】 相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめる力を養う。</p> <p>③ 【主体的に学習に取り組む態度】 文章を読む楽しさを味わい、読書に親しむとともに、国語を伝え合う力を養う。</p>										
備 考											

1 学期			2 学期			3 学期		
月	単元	時数	月	単元	時数	月	単元	時数
4	評論『最初のペンギン』	5	8	評論的随想『カフェの开店準備』	5	1		
5	小説『カンガルー日和』	8	9	小説『鞆』	10	2		
6	作文	12	10	作文	12	3		
7			11					
			12					

教科	国語	科目	現代文	学年	3	コース	講座5	単位数	2	担当者	荒木 正人
使用教科書	新編現代文 B (東京書籍)										
副教材											
目 標	<p>近代以降の様々な文章を読むことによって、我が国の言語文化に対する理解を深め、生涯にわたって読書に親しみ、国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。</p> <p>④ 【知識、技能】 言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付ける。</p> <p>⑤ 【思考、判断、表現】 相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめる力を養う。</p> <p>⑥ 【主体的に学習に取り組む態度】 文章を読む楽しさを味わい、読書に親しむとともに、国語を伝え合う力を進んで高める。</p>										
備 考											

1 学期			2 学期			3 学期		
月	単元	時数	月	単元	時数	月	単元	時数
4	漢字・ことわざ	5	8			1	レポート提出	2
5	評論	8	9	漢字・ことわざ	5	2		
6	随想	8	10	小説	9	3		
7			11	詩	6			
			12	レポート作成	6			

教科	国語	科目	古典 B	学年	3	コース	講座 2	単位数	2	担当者	後藤 にか
使用教科書	新編古典 B (東京書籍)										
副教材											
目 標	<p>古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。</p> <p>① 【知識、技能】 伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりなどの理解を深め、知識を身につける。</p> <p>② 【思考、判断、表現】 古典を読んで思想や感情などを的確に捉えたり、その価値を考察したりして、自分の考えを深める。</p> <p>③ 【主体的に学習に取り組む態度】 古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を高める。</p>										
備 考											

1 学期			2 学期			3 学期		
月	単元	時数	月	単元	時数	月	単元	時数
4	【古文】 I 部 和歌の世界 『小倉百人一首の世界』	6	8	【古文】 II 部 物語② 『源氏物語』	1 5	1		
5		8	9			2		
6		10.	10.			3		
7	II 部 随筆① 『枕草子』	6	11.	【漢文】 II 部 中国の思想 『儒家と道家』	1 3			
	【漢文】 I 部 三国志 『十八史略』		12.					

教科	国語	科目	古典 B	学年	3	コース	講座 3	単位数	2	担当者	志賀浪拓
使用教科書	新編古典 B (東京書籍)										
副教材											
目標	<p>古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。</p> <p>④ 【知識、技能】 伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりなどの理解を深め、知識を身につける。</p> <p>⑤ 【思考、判断、表現】 古典を読んで思想や感情などを的確に捉えたり、その価値を考察したりして、自分の考えを深める。</p> <p>⑥ 【主体的に学習に取り組む態度】 古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を高める。</p>										
備考											

1 学期			2 学期			3 学期		
月	単元	時数	月	単元	時数	月	単元	時数
4	【古文】 I 部 和歌の世界 『小倉百人一首の世界』	6	8	【古文】 II 部 物語② 『伊勢物語』	1 5	1		
5			9			2		
6			10.			3		
7	II 部 随筆① 『枕草子』	6	11.	【漢文】 I 部 史記 『項羽と劉邦』	1 5			
			12.					
	【漢文】 I 部 唐詩と文 『唐詩』							

教科	国語	科目	古典 B	学年	3	コース	講座 4	単位数	2	担当者	菅野 裕美
使用教科書	新編古典 B (東京書籍)										
副教材											
目 標	<p>古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。</p> <p>⑦ 【知識、技能】 伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりなどの理解を深め、知識を身につける。</p> <p>⑧ 【思考、判断、表現】 古典を読んで思想や感情などを的確に捉えたり、その価値を考察したりして、自分の考えを深める。</p> <p>⑨ 【主体的に学習に取り組む態度】 古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を高める。</p>										
備 考											

1 学期			2 学期			3 学期		
月	単元	時数	月	単元	時数	月	単元	時数
4	【古文】 I 部 和歌の世界 『小倉百人一首の世界』	1	8	【古文】 II 部 物語② 『伊勢物語』	1	1		
5		0	9		0	2		
6			10.			3		
7	II 部 随筆① 『枕草子』	1	11.	【漢文】 I 部 史記 『項羽と劉邦』	1			
		0	12.		2			
	【漢文】 I 部 唐詩と文 『唐詩』	8						



教科	国語	科目	古典	学年	3	コース	講座5	単位数	2	担当者	荒木 正人
使用教科書	新編古典 B (東京書籍)										
副教材											
目 標	<p>古典としての古文と漢文、古典に関する文章を読むことによって、我が国の伝統と文化に対する理解を深め、生涯にわたって古典に親しむ態度を育てる。</p> <p>① 【知識、技能】 伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりなどの理解を深め、知識を身につける。</p> <p>② 【思考、判断、表現】 まとまりのある古典を読み、古典に表れた思想や感情を捉え、自分の考えを深める。</p> <p>③ 【主体的に学習に取り組む態度】 古典を読む楽しさを味わい、古典に親しむとともに、我が国の伝統と文化に対する関心を深める。</p>										
備 考											

1 学期			2 学期			3 学期		
月	単元	時数	月	単元	時数	月	単元	時数
4	【古文】 古文文法 ・歴史的仮名遣い	5	8	【漢文】 訓点・書き下し文	9	1		
5	随筆	7	9		8	2		
6	物語	8	10	小話	8	3		
7			11	【古文】 和歌の世界	8			
			12					

教科	社会	科目	日本史 A	学年	3	コース	S	単位数	3	担当者	高嶋 信
使用教科書	高等学校 改訂版 日本史 A 人・くらし・未来 第一学習社										
副教材											
目 標	① 歴史的事象の本質を見極め、物事を理解する力を身に付ける。 ② 歴史的事象を論理的に考察する力を養う。 ③ 歴史的事象を論理的に表現する力を養う。 ④ 周囲の人と協力して、問題解決や課題解決できる態度を養う。 ⑤ 日本史の面白さを教科書以外の部分からも見出す力を身に付ける。										
備 考	○ファイル点検の評価観点 1. 空欄がない 2. 板書事項を記入している 3. 丁寧な字で書いている ○ファイル点検の評価内容 A 空欄が無く、板書事項もしっかりと記入している (25点) B 空欄が無く、丁寧な字で書かれている (20点) C 空欄が5個未満 (15点) D 空欄が10個未満 (10点) E 空欄が10個以上ある (5点) テスト直し (提出: 5点) ※レポートに関してはその都度評価基準を掲示										

1 学期			2 学期			3 学期		
月	単元	時数	月	単元	時数	月	単元	時数
4	第2部 近現代の日本と世界	12	8	第2章 両大戦をめぐる国際情勢	6	1	第3節 現代の日本と世界	6
	第1章 近代国家の形成と国際関係の推移			第1節 第一次世界大戦と日本				
	第1節 近代への胎動		9		14	2		
	第2節 開国と幕末の動乱			第2節 第二次世界大戦と日本				
5	第3節 近代国家の形成	14	10		15	3		
				第3章 現代の日本と世界				
6	第4節 国際関係の推移と近代関係の推移	15	11	第1節 日本の再出発	15			
7		12	12	第2節 独立後の政治と経済の発展	13			

教科	数学	科目	数学 B	学年	3	コース	講座 2	単位数	3	担当者	加藤 達也 中島 大輝
使用教科書	改訂版 高等学校 数学 B										
副教材											
目 標	①数学における基本的な事項を理解し、活用する力を身につける。 ②事象を論理的に考察する力を養う。 ③事象を論理的に表現する力を養う。 ④自らの課題を分析し、改善しようと努める態度を養う。 ⑤仲間とともに事象について考察し、評価・改善する態度を養う。										
備 考	レポートや口頭試問を実施する際は、実施前に評価基準の詳細を提示する。										

1 学期			2 学期			3 学期		
月	単元	時数	月	単元	時数	月	単元	時数
4	数Ⅱ 第 6 章 微分法と積分法 第 1 節 微分係数と導関数	10	8	数 B		1	第 3 節 漸化式と数学的帰納法	5
5	第 2 節 関数の値の変化	15	9	第 1 章 平面上のベクトル 第 1 節 ベクトルとその演算 第 2 節 ベクトルと平面図形	15 10	2		
6	第 3 節 積分法	10	10	第 2 章 空間のベクトル 第 3 章 数列	5	3		
7			11	第 1 節 等差数列と等比数列 第 2 節 いろいろな数列	10 10			
			12					

教科	数学	科目	数学B	学年	3	コース	講座3	単位数	3	担当者	片山 領典
使用教科書	改訂版 高等学校数学II (数研出版) / 改訂版 高等学校数学B (数研出版)										
副教材	REPEAT 数学II (数研出版)										
目標	①数学における基本的な事項を理解し、活用する力を身につける。      ②事象を論理的に考察する力を養う。 ③事象を論理的に表現する力を養う。      ④自らの課題を分析し、改善しようと努める態度を養う。 ⑤仲間とともに事象について考察し、評価・改善する態度を養う。										
備考	○レポートの評価の観点 1, 数値の計算が正しいか 2, 定理・定義が適切に使われているか 3, 図やグラフが適切に使われているか 4, まとめがしっかりかけているか 5, 字は丁寧に書いているか ○授業毎の振り返りテストの取り組みをA・Bの2段階で評価します。										

1 学期			2 学期			3 学期		
月	単元	時数	月	単元	時数	月	単元	時数
4	正負の数の計算・累乗・平方根	10	8	《数学B》		1	第2章 空間ベクトル	5
5	文字式・展開・一次方程式	10	9	第3章 数列	15	2		
6	《数学II》		10	第1節 等差数列と等比数列	10	3		
	第5章 指数関数と対数関数	15	11	第2節 いろいろな数列				
7	第1節 指数関数		12	第1章 平面上のベクトル	15			
				第1節 ベクトルとその演算	10			
				第2節 ベクトルと平面図形				

教科	理科	科目	地学基礎	学年	3	コース	AST	単位数	3	担当者	今田 芳彦
使用教科書	第一学習社 改訂 地学基礎										
副教材	第一学習社 ネオパルノート地学基礎										
目 標	① 基本的な知識を理解し、身につける。 ② 知識を活用する力（考察力、表現力）を養う。 ③ 自分の弱点を分析し、その課題について改善しようと努力する態度を養う。 ④ グループ学習における学び合いを通し、周りとは協力し学力を高め互いに評価できる姿勢を養う。										
備 考											

1 学期			2 学期			3 学期		
月	単元	時数	月	単元	時数	月	単元	時数
4	第 1 節宇宙における地球 宇宙の構成	6	8	火山活動と地震		1	第 5 章地球の環境	5
5	太陽 太陽系の中野地球	5	9	第 3 章移り変わる地球 地層や岩石と地質構造	5	2	地球環境の科学	
6	第 2 章活動する地球 地球の姿	3	10	第 4 章大気と海洋 地球の熱収支		3		
7		4	11	大気と海洋の運動	5			
		7	12		5			

教科	保健体育	科目	体 育	学年	3	コース	E A S T	単位数	3	担当者	佐藤 健
使用教科書											
副教材											
目 標		<p>各種の基本動作を習得し、基本体力の向上をはかる。また、安全と事故防止に注意し、互いに協力し合って練習・競技・ゲームができるようにする。自分の健康・体力に関心を持ち進んで運動する習慣を養い、生涯にわたって運動に親しむ基礎をつくる。</p> <p>①. 授業に積極的に参加し各種目の特性に関心を持ち取り組んでいる。          ②. 自分の能力に応じた目標や課題を持ち行っている。          ③. グループ練習やゲームで仲間と共に課題を持ち練習している。          ④. パスなどの基本的な動作をスムーズに行うことができる。          ⑤. 各種目の特性、ルールを理解している。</p>									
備 考											

1 学期			2 学期			3 学期		
月	単 元	時数	月	単 元	時数	月	単 元	時数
4	・オリエンテーション、整列柔軟、補強運動	3	8	・柔軟、補強運動	2	1	・選択種目（屋内）フットサル、バスケットボール、バドミントン、卓球	5
5	・スポーツテスト	5	9	・バレーボール	15	2		
6	・陸上競技（短距離走 走り高跳び）	8	10	・選択種目（屋外）サッカー、ソフトテニス、ソフトボール、グランドゴルフ	6	3		
7	・柔道 3年生	10	11	・バスケットボール	15			
	・選択種目（屋外）サッカー、ソフトテニス、ソフトボール、グランドゴルフ	4	12	・選択種目（屋内）フットサル、バスケットボール、バドミントン、卓球	6			

教科	英語	科目	英語コミュニケーションII	学年	3	コース	S	単位数	4	担当者	安彦 アイヴァン 小野
使用教科書	Revised BIG DIPPER English Communication II										
副教材	・ヒビスピ ・システム英単語 Basic										
目標	①英語における基本的な文法や表現を理解し、活用する力を身につける。 ②文法事項を論理的に説明できる力を養う。 ③状況に応じた表現ができる力を養う。 ④自らの課題を分析し、改善しようと努める態度を養う。 ⑤仲間とともに切磋琢磨する態度を養う。										
備考											

1 学期			2 学期			3 学期		
月	単元	時数	月	単元	時数	月	単元	時数
4	Lesson 1 Washoku Around the World	10	8	Lesson 5 Diversity Brings New Products	15	1	Lesson 9 Fair Play in Sports; What is Fair?	10
5	Lesson 2 Chirori, the First Therapy Dog in Japan	10	9	Lesson 6 Ueno Takahiro; The Dancer in Me	15			
6	Lesson 3 How Good Is Your Memory?	12	10	Lesson 7 The France Okaeshi Project	15			
7	Lesson 4 Space Elevator	12	11	Lesson 8 What Is The True Meaning of M'ottainai?	15			
			12					

教科	家庭	科目	家庭総合	学年	3	コース	S T	単位数	2	担当者	谷 紀子
使用教科書	新家庭総合										
副教材	新家庭総合準拠ノート										
目 標	①人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させる。 ②家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。										
備 考											

1 学期			2 学期			3 学期		
月	単元	時数	月	単元	時数	月	単元	時数
4	食生活と自立		8	食の安全と調理	4	1	環境に配慮した食生活	2
5	栄養素のはたらき	10	9	応用調理	10	2		
	食品の選択と保存	3						
6	基礎調理	10	10			3		
7			11	現代の食生活の課題	5			
	学んだことを活かそう ホームプロジェクト	1	12	環境に配慮した食生活	5			



教科	情報	科目	アプリケーション II	学年	3	コース	S	単位数	4	担当者	高橋 航太郎 小野 淳
使用教科書	オリジナル教材 (学習プリント)										
副教材	※使用予定なし										
目 標	①目的に応じて適切に情報機器を活用できる ②問題解決に様々な知識・技能を活用できる ③既存の知識資源・人的資源を効果的に活用できる										
備 考	・必要に応じて口頭試問による評価を行う										

1 学期			2 学期			3 学期		
月	単元	時数	月	単元	時数	月	単元	時数
4	・プログラミング入門	4	8	・プログラミング実践	4	1	・バージョン管理	4
	・フローチャート	3	9	・GUI の工夫	8			
	・開発環境	3		・外部呼出しの活用	8			
5	・インタフェースの種類	3	10	・通信機能の実装	8			
	・型と変数	4		・データベース連携	8			
	・課題演習 1	6		・仕様書作成	8			
6	・課題演習 2	7	11	・総合演習	20			
7	・課題演習 3	7	12	・デバックとテスト	4			